



連合会だより

2025年7月

103号

212 団体
76,383 世帯
町田市原町田 4-9-8
042-722-4262
発行人 高橋 清人

町内会・自治会連合会総会で承認された役員を紹介します。



市連合会会長 高橋 清人

町内会自治会は助け合いの輪です。特に災害時は隣近所で力を合わせて、助け合わないとなりません。行政の助けはすぐには来ません。普段から顔の見える関係を作っておくことが大事です。お祭りや健康づくり、趣味の会など日ごろから一緒に遊んで知り合いをたくさん作っておきましょう。若いご家庭も共働きが多く、お忙しい方が多い。活動や遊びをアレンジするには SNS などデジタル化が必須です。

町田第二地区会長
会長代行 中 一登

少子高齢化、働き方改革、デジタル化、防犯防災対策対応と日頃の生活を取り巻く環境がスピードをもって、大きく変化をしていることを感じる昨今です。今後、町・自治会（連）としての取り組みへの課題は山積しております。連合会としてベクトルを合わせて安心、安全な、街づくりに向かい個々の問題、課題解決に市、諸団体とも情報交換、共有、協力をしていきたいと思ひます。

南地区会長
長谷川 義剛
副会長（会計担当）

町田市の南の玄関、南地区40町内会・自治会が「みんなのみなみ」の合言葉のもと、安全・安心の住み良い魅力的な街づくりを目指して一致団結。防災・防犯面の更なるレベルアップを推し進め、より一層の発展に向けて頑張ります。

高ヶ坂・成瀬地区会
木下 賢治
副会長（会計担当）

今年度より高ヶ坂・成瀬地区の地区長になりました木下賢治と申します。住み良い街『高ヶ坂・成瀬』を掲げ、自治会に入っていて良かったと実感出来る地域づくりを目指します。学校の統廃合、部活動の地域移行の問題にも地域として何が出来るかを考えていきたいと思ひます。

町田第一地区会長
平本 勝哉
副会長（総務担当）

町田第一地区は9町内会・自治会で構成され、中心市街地の商店街、公民館や文学館・図書館・芹ヶ谷公園等もあり、極めて利便性の高い好環境の住宅地です。市街地には昼夜を問わず多くの来街者が訪れ、一度災害が起きれば大混乱が予想されます。住民の親睦・交流を図ると共に、防犯防災対策の充実に努めます。

玉川学園・南大谷地区会長
田代 敏行
副会長（広報担当）

玉川学園、南大谷地区は10の町内会、自治会で構成されている地区です。近年会員減少が著しく対応に苦慮しております。また、近い将来発生する可能性の高い震災に備え防災機材の整備が必要です。さらに高齢化が進む中、地域交通の在り方について検討を進めております。会員の力を借りながら課題解決に努めて参ります。

木曽地区会長
一戸 雅行
副会長（庶務担当）

この度、木曽地区の地区長に就任することになりました一戸雅行と申します。木曽南自治会が母体となっております。結婚してから町田市に住み、人生の半分以上が町田市での生活拠点となっております。木曽地区から楽しい風が吹くようにしていきたいと思っております。

忠生地区会長
川畑 一隆
副会長（総務担当）

多世代が安全・安心で住みやすい活気ある地域づくりを目指しています。バイオエネルギーセンターの安全運転・環境保全を厳しく見守り、スポーツ公園第二次整備を含む周辺のまちづくりを着実に推進し、災害への備えの充実、デジタル社会への対応等に取り組んでいきます。

鶴川地区会長
仲村 清彦
副会長（庶務担当）

鶴川地区は面積22km²人口10万人町内会連合会の内でも一番広く人口も多い土地です。34団体が加盟しております。道路などインフラ整備が遅れております。ハードウェアの整備の遅れた面をソフトウェアでカバーして仲良く楽しい住みやすい街を造って行きたいと思ひます。

小山地区会長
安達 廣美
副会長（庶務担当）

小山地区は西の玄関口と考えています。人口も今や31,880人（R7年5月1日現在）。この数字に相応しい街造りを目指したいと思ひます。当然ながら災害時の対策の強化や、加入促進対策にも力を注がなければなりません。基本と考えるこの課題に取り組んでまいります。

相原地区会長
渡代 真知子
副会長（広報担当）

相原地区は、横浜線相原駅が中心の町ですが、踏切のアンダーパス化の為に道路の拡張工事が開始され、商店、住宅の立ち退きが急増…移動販売車や駅前広場での朝市を開催するも微力です。新設道路に掛からない所に商店や住宅の建設等地域の活性化が重点課題です。

2025 年度 定期 総会 開催

2025 年度の町田市町内会・自治会連合会(市連)の定期総会が町田市民フォーラム 3 階ホールにて 5 月 18 日(日)午後 2 時より開催されました。

高橋会長の挨拶、石阪丈一町田市長、木目田英男町田市議会議員、伊藤俊介衆議院議員からの来賓挨拶の後、川畑副会長(忠生地区会長)より市連加盟 216 団体のうち、出席者 88 団体、委任状 85 団体の計 173 団体の参加を得て総会成立要件を満たしているとの報告があり、定期総会の成立が報告されました。

その後、忠生地区の大谷議長、町田第一地区の熊坂書記が選出され、議案審議に入りました。



<高橋会長の挨拶>



<挨拶をする石阪市長>

(第 1 号議案) 2024 年度 事業成果報告

(第 2 号議案) 2024 年度決算報告

同会計監査報告

第 1 号、第 2 号議案は一括審議し、助成金等についての質疑がありました。

質疑終了後、各議案とも賛成多数で承認されました。

(第 3 号議案) 2025 年度事業計画(案)

- 1 防災・防犯対策の強化
- 2 加入促進と事業運営の充実
- 3 広報活動の推進と地区連合会との情報の共有、相互の連携強化
- 4 会長研修の充実と地域の課題を市政に反映
- 5 デジタル社会への対応
- 6 エコ社会の啓発と活動の推進
- 7 明るい街づくりのための協力と推進
- 8 その他連合会規約第 3 条の目的に合致する事業の推進を図る

(第 4 号議案) 2025 年度予算(案)

第 3 号、第 4 号議案は一括審議し、総会資料の電子化、会計年度について、東京都町会連合会の機能、他市で導入している総合防災システムについて、発災後の初動体制、町内会館のデジタル化、市連からの情報伝達経路について等活発な質疑応答がありました。

また、「いちのいち」を使って防災訓練をしたところ訓練参加者の増加と町会加入者が増えた事、町内会サポーター制度を設け町内会が活性化した事などが報告され、マンション管理適正化推進計画の中でも言及されているマンション自治会の解散の危機を課題として取り上げて欲しいといった要望もありました。

質疑終了後、各議案とも賛成多数で承認されました。



<新旧役員の挨拶>

議長・書記解任後に、新役員の紹介があり、最後に、地域の発展、連合会の運営に貢献された方々に記念品を添えて感謝状・表彰状が贈呈され、2025 年度定期総会は閉会しました。

(編集委員 熊坂恵司)